

平成26年度びんリユース推進に向けた基礎調査の実施計画（案）

びんリユースシステムの構築等を促進するため、平成26年度事業では、以下の基礎調査・資料整理を実施する。

（1）学校給食における牛乳びん（以下、「学乳びん」）リユース等導入可能性調査

都道府県（教育委員会、農畜産担当部局）市町村教育委員会を対象にアンケート調査（郵送法）を実施し、学校給食用牛乳における容器の選定プロセスや今後びん容器導入の可能性等について把握・整理する。

アンケート調査は、学校給食におけるびん容器の使用比率が概ね5割以上の地域（東京都、山梨県、長野県、福井県、愛知県、大阪府、奈良県、岡山県）及び政令指定都市とし、牛乳びんの導入に向けた検討を行う自治体や既に導入実績のある自治体については電話等によるヒアリング調査を行う。

アンケートの構成は、都道府県及び市町村それぞれについて、「学校給食で提供する牛乳容器の選定方法」及び「学乳容器の近年・今後の動向について」の設問を設け、学校給食で提供される牛乳容器の選定方針や選定プロセスと近年の容器傾向とその理由、今後の傾向について把握する。

市町村については、「牛乳容器の現状」に関する設問を設け、現状での容器種類の比率やそれぞれの容器に関するトラブル事例を把握するとともに、近年容器種類に変更のあった学校や新規給食提供予定のある学校などに関する設問を設け、今後もびんによる供給を維持、あるいは、今後新たに導入する見込みのある自治体を抽出すると共に、びんを採用する上での課題を抽出し、今後効果的にびんを普及させるための方策を検討する材料とする。

都道府県教育委員会向けアンケート調査項目

分類	質問項目	設問の概要・活用方法
学乳容器の選定プロセスについて	1. 供給業者の数	・市町村区域内での牛乳供給業者数
	2. 供給業者の選定方法	・市町村区域内での牛乳供給業者数 ・独自入札か都道府県による入札か
	3. 独自入札の場合の選定方針	・どのような方針で入札を行っているか（地産地消、容器種類）
	4. 入札条件の有無	・容器の種類を入札条件に定めているか
	5. 容器の判断の根拠	・判断の根拠となる方針があるか、検討する組織があるか
学乳容器の近年・今後の動向について	6. 近年の動向	・近年の容器種類の変更の有無（全域、一部の学校・区域） ・変更の理由
	7. 今後の見込み	・予想される容器種類の傾向
	8. 今後の方針	・今後びんを増やす意向があるか ・びん導入の課題
全般	9. 自由意見	・要望等の確認

回答に際しては必要に応じて農畜産部局に照会を依頼する。

市町村教育委員会向けアンケートの調査項目

分類	質問項目	設問の概要・活用方法
・牛乳容器の現状について	1. 容器の割合	・ 現状での学校別容器種類別牛乳納入数
・学乳容器の選定プロセスについて	2. 供給業者の数	・ 市町村区域内での牛乳供給業者数
	3. 供給業者の選定方法	・ 市町村区域内での牛乳供給業者数 ・ 独自入札か都道府県による入札か
	3 - (1) ~ (3) . 独自入札の場合の選定方針	・ どのような方針で入札を行っているか（地産地消、容器種類） ・ 容器種類の判断根拠は何か
	3 - (4) ~ (6) . 都道府県入札の場合の市町村の役割	・ 都道府県に容器の要望を伝えているか ・ 要望の根拠は何か ・ 供給される牛乳の容器の選択が可能か
・学乳容器の近年・今後の動向について	4. 近年の動向	・ 近年の容器種類の変更の有無（全域、一部の学校・区域） ・ 変更に至った背景、理由
	5. 容器に関するトラブル	・ びん、紙容器それぞれのトラブルの有無
	6. 新規の給食供給	・ 今後の牛乳容器の方針確認 ・ びんを新規導入する機会のある自治体を抽出。
	7. 今後の見込み	・ 予想される容器種類の傾向
	8. 今後の方針	・ 今後びんを増やす意向があるか ・ びん導入の課題
・全般	9. 自由意見	・ 要望等の確認

(2) 地方自治体におけるリユースびんの取組事例調査

都道府県・市町村を対象に地方自治体におけるびんリユース推進の取組状況に関するアンケート調査（郵送法）を実施する。調査のポイントとしては、会議等におけるびん容器の率先導入、地域におけるびんリユース推進に向けた支援、生きびん回収、住民への普及啓発の4点を想定し、アンケート調査結果を踏まえて、先進的・特徴的と考えられる取組に対しては電話等によるヒアリング調査を行う。

アンケートの構成は、地方自治体におけるびんリユースの取組みとして、「地域におけるびんリユースの推進」「再使用可能な容器の率先導入」について把握する。さらに、第三次循環型基本計画で2R推進の重要性が位置づけられたことを踏まえ、「循環型社会に関する計画・条例における2Rの位置づけ」についても把握する。

地方自治体向けアンケートの調査項目

分類	質問項目	設問の概要・活用方法	回答対象
・リユースびんの回収状況	1) リユースびんの拠点回収	<ul style="list-style-type: none"> リユースびんの拠点回収の有無 リユースびんの拠点回収による回収量 	市町村のみ
	2) リユースびんの分別回収・選別状況	<ul style="list-style-type: none"> リユースびんの分別回収状況 リユースびん分別回収による回収量 リユースびんを分別回収している市町村の割合、先進事例を把握 リユースびんの回収後選別の実施状況 選別方法（収集時、コンベア）回収量 リユースびんを選別している市町村の割合、先進事例の把握 	
・地域におけるリユースびんの推進	4) びん商やNPO等の団体との協働・支援	<ul style="list-style-type: none"> びんリユース推進の施策上の位置づけ 連携している団体・取組み内容 先進事例の把握 	市町村及び都道府県
	5) びんリユースに関する住民への啓発	<ul style="list-style-type: none"> 啓発媒体の状況 	市町村及び都道府県
・再使用可能な容器の率先導入	6) グリーン購入法改正の認知度	<ul style="list-style-type: none"> グリーン購入法改正の認知の有無 改正を受けた対応の状況（検討の有無、方針の策定状況） 先進事例の把握 	市町村及び都道府県
	7) 率先導入の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 会議での飲料提供状況（提供の有無、容器の種類、購入方法） 先進事例の把握 	
・循環型社会に関する計画・条例における2Rの位置づけ	8) 2R推進の位置づけと施策	<ul style="list-style-type: none"> 2Rに特化した推進の位置づけの有無と計画の種類 具体的な施策内容 先進事例（計画で位置づけを行っている事例の把握） 	市町村及び都道府県

(3) 宅配食におけるリユースの導入状況に関する基礎調査

調理済みの食品を高齢者等に配達する宅配食サービスは、民間業者、社会福祉協議会、社会福祉法人、生活協同組合、ワーカーズコレクティブ、特定非営利活動法人等が実施している。近年は、高齢化社会の進行により宅配食市場の拡大が見込まれることを踏まえ、外食産業や小売業等の業態の宅配食サービス事業への新規参入が著しい。

本調査は、今後さらに拡大が見込まれる宅配食サービスにおけるびん及びリユース食器の導入状況についてその概要を調査する。

宅配食サービスにおけるびん及びリユース食器の導入状況について、1) リユース食器のメーカー・卸売業者 2) 宅配食サービス事業者に対してインタビュー調査を実施、現状での宅配食サービスにおけるリユース食器及びびんの使用状況、リユース食器の選択理由及びメリットを整理し、今後のリユース食器の導入・拡大可能性について検討する。

(4) びんリユースシステムの成功事例集の追加・更新等業務

平成23年度事業において作成した「びんリユースシステムの成功事例集(平成24年3月版)」について、事例追加・更新を行い、環境省ウェブサイト等で公開・配布、広く普及啓発のツールとして活用することを目的とする。

現在掲載している事例(14事例)については、直近での動向について把握し、内容を更新するとともに、新たに事例を追加する。

新たな事例候補としては、びんリユースの代表例である一升びんやビールびんの事例等に加え、公的機関におけるグリーン購入・調達推進の観点からびんリユースの率先導入を行っている自治体等の事例などを想定する。

新たな事例候補(案)

一升びん	<ul style="list-style-type: none">・日本酒、焼酎などの酒類、醤油、食用酢などに利用されている。年間出荷量は約1.6億本(平成25年)。・1.8L 壺再利用事業者協議会へのインタビューを予定
ビールびん	<ul style="list-style-type: none">・大手のビール酒造会社は、日本国内で販売するビールのびん製品容器に、主としてリユースびんを使用。回収率は95%以上。
公的機関のグリーン購入(会議利用)	<ul style="list-style-type: none">・公的機関が開催する会議等でリユースびん入り飲料を提供する取組。・奈良県奈良市、生駒市の取組を想定。

(以上)